



日本工学アカデミー関西支部
2026 年度上半期(第 16 回)講演会



テーマ：「宇宙共生とは — 人類の活動領域拡大への挑戦 —」

人類の活動領域は、地球低軌道から月面、さらに深宇宙へと拡大しつつあります。宇宙は、一部の専門家だけの探査対象ではなく、人が暮らし、働き、学び、社会を形成する新たな場となりつつあります。今後は、宇宙利用や技術開発にとどまらず、限られた資源・エネルギー・環境の中で、人間、社会、技術が持続的に共生する視点が求められます。本講演会では、月面拠点建設の最前線と、宇宙共生時代に求められる技術・組織・事業のデザインについて考えます。多様な視点からの討議を通じて、宇宙共生とは何か、活動領域の拡大に大学・企業・社会がどう向き合うべきかを皆さんとともに考えます。

【日時】 2026 年 9 月 18 日（金）13:30-16:15

【場所】 同志社大学今出川キャンパス（良心館 2 階 RY 2 0 3 号室）

<https://www.doshisha.ac.jp/information/access/index.html>

https://www.doshisha.ac.jp/information/imadegawa/imadegawa_map/index.html

【プログラム】 （注）講演者・講演内容などは事前の予告なく変更することがございます。

13:00 受付開始

13:30 開会挨拶 小原 克博（同志社大学 学長）

13:35 支部挨拶 田中 敏宏（日本工学アカデミー関西支部長・大阪大学理事・副学長）

企画趣旨説明 後藤 琢也（同志社大学・副学長・理工学部教授）

13:40-14:10 鶴山 尚大（清水建設株式会社フロンティア開発室宇宙開発部）月に暮らす時代を見据えて—月面拠点建設実現に向けた清水建設の挑戦

14:10-14:30 森 良弘（同志社大学大学院・ビジネス研究科科長）宇宙共生時代のイノベーション・マネジメント—月面拠点構想から考える技術・組織・事業のデザイン

14:30-14:45 休憩

14:45-15:05 渡辺 公貴（同志社大学・生命医科学部教授）SORA-Q から拓く宇宙ロボティクス—月面探査から宇宙共生社会へ

15:05-15:20 鈴木 祐太（同志社大学・ハリス理化学研究所助教）ISS で挑むレゴリス融体の熱物性計測—月面資源利用を支える高温融体データの取得

15:20-15:35 田中 聖也（同志社大学・理工学部助教）月レゴリスからの金属・酸素生成を実現する熔融レゴリス電解法の開発—JAXA 探査ハブでの取り組み—

15:35-16:10 パネルディスカッション小畠 秀和（同志社大学理工学部教授・同志社大学宇宙共生研究センター長）

16:10-16:15 閉会挨拶 田中 敏宏（日本工学アカデミー関西支部長・大阪大学理事・副学長）

【参加申込】 参加費無料、どなたでも参加できます。

事前登録制（先着）：80 名（締切日：2026 年 9 月 17 日）

(1)氏名、(2)EAJ会員／賛助会員／非会員の区別、(3)連絡先電話番号及びメールアドレスを下記 URL または QR コードから入力の上お申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/f0712139141206>



【問合せ先】

同志社大学カーボンリサイクル教育研究プラットフォーム

TEL: 0774-65-6107 / E-mail: rs-on92" at" mail.doshisha.ac.jp ("at"を@に変更して送信願います)

主催 日本工学アカデミー関西支部

共催 同志社大学カーボンリサイクル教育研究プラットフォーム

協賛 日本工学アカデミー中部支部